



釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔④

＝釧路市

幼少期からクラシックに親しんだ。2006年にヒットした「千の風になって」で男性声楽に興味を持ち、07年の釧路交響楽団30周年「第9」演奏会に市民合唱団として参加。その際、ソプラノ歌手の菊地江氏の歌声に魅了された。本格的に習いたいとつてを頼り、11

年から菊地江氏に師事。楽譜も読めない状態から、イタリアのベルカント唱法で発声練習を行い、表現や音域の幅を広げていった。

16年から東京国際声楽コンクール^①の愛好家部門に出場。第8回の本選入賞から毎年参加し、第10回では3位入賞を果たす。愛好家部門ながら過去に声楽をなりわいとしていたような出場者も多かったが、複数の審査員から1位順当と高い評価を受けた。

地域では年2回、経営する間宮泌尿器科でロビーコンサートを開催。その他、さまざまなイベントで時代背景や歌詞を紹介した上で歌声を披露、地域の音楽文化向上に寄与した。「オペラは100年前の最先端音楽で、時代に淘汰^{どた}されなかった魅力を持つ。当時の時代背景や異国語の響きなど、知ることが世界を広げ心を豊かにしてくれる。歌が興味のきっかけになれば」と話している。

声楽

間宮 政喜さん(62)

オペラの響きが心豊かに